

固形油脂系 貼紙・落書き防止クリアーコート

国土交通省旧NETIS登録番号  
QS-070019-VE  
『Pioシリーズ』

# PioミラクリンZ

適応素地: 亜鉛メッキ・塗装  
コンクリート・鋼板など

塗装部劣化抑制(フッ素系、ポリウレタン系、亜鉛メッキ系 他)

落書き、貼紙防止(支柱、擁壁、橋台 他)

融雪剤による施設劣化抑制(塩害対策)

アンダーパスなどの壁面保護

二酸化炭素、硫化水素などガス対策

## 長期間性能持続!!

「PioミラクリンZ」は素地表面に塗布すると表層部に撥水・吸水防止層を構成し、雨水、塩化物、炭酸ガスなど化学物質の浸入を遮断し劣化を抑制します。下層部は、内部に浸透し微細ひび割れ修復(コンクリートへの使用)や優れた素地との密着性により、長期間性能を維持します。



〈施工事例〉

## 貼紙・落書き兼用の予防効果

- 接着剤、粘着剤の「のり」付着を阻害し剥がしやすくします。
- 「ペイント類」の定着を阻害し、除去しやすくします。



## その他 三大効果

### 1. 高い撥水(劣化抑制)効果

長時間撥水効果を維持することによって、内部への水の浸入を防ぎます。その結果、構造物の汚れや湿気の繰り返しによる劣化を抑制します。

### 2. 塩害対策効果

塩化物イオンの浸透性は低く、塩酸に対する抵抗性は高く凍結防止剤などによる塩害を抑制します。

### 3. 長寿命化

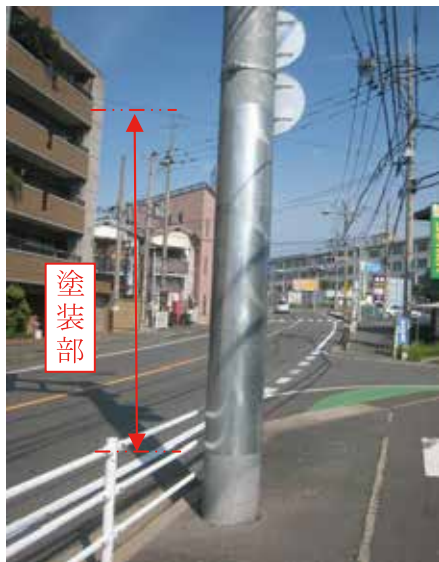
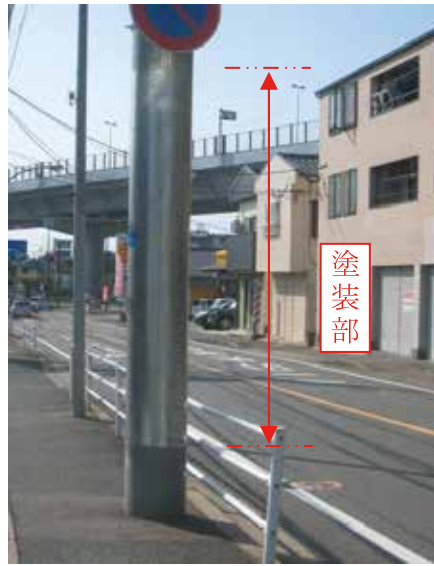
福岡都市高速 堤IC案内標識柱で2006年から現在に至るまで12年相当経過でも、撥水(劣化抑制)効果を発揮中です。





## 亜鉛メッキ柱暴露試験

2006年3月にPioミラクリンZを塗装した亜鉛メッキ柱の12年経過後の結果を検証しました。



# PioミラクリンZ 施工例①



## 地下歩道壁面に施工



施工後は撥水効果が長時間持続し、劣化防止につながります。



## 駐車場落書き除去+PioミラクリンZ施工

### ①施工前

一面に落書きがある状態。  
※表面積27㎡



### ②落書きを除去

らくらく落ち太君を使用し落書きを除去します。  
※340mlを24本使用  
※塗装する場合でも、浮き上がり防止の為に除去が必要です。



### ③下地塗装

下地塗装を行います。



### ④PioミラクリンZを施工

PioミラクリンZを施工。  
※8L使用  
**高い撥水性と耐久性**  
を持ったコンクリート壁の完成です。



## 施工効果の確認



ラッカーズプレーを吹き付け



容易に除去が可能です

## ◆ 塗 装 仕 様 ◆

項 目	内 容
混 合 調 合	2液 (主剤)7 : 1(硬化剤)
希 釈	無
標 準 使 用 量 (ローラー塗り)	鋼板面 100~120g/m <sup>2</sup> (ロス分・揮発分等含まず) 塗装・コンクリート面 120~160g/m <sup>2</sup> (ロス分・揮発分等含まず)
塗 装 回 数	2 回 (プライマー不要です)
標 準 膜 厚	20~50 μm
塗 装 間 隔 (20℃)	15~30分
乾 燥 時 間 (20℃)	30~60分
液 色	白濁色(乾燥後、無色透明)
塗 装 方 法	ローラー 又は ハケ (重ね塗り/部分補修可)

※標準使用量は目安です。施工対象の形状や状態、塗装方法、気象条件、施工対象物の温度などにより使用量、膜厚が変化します。

※硬化時間及び乾燥時間は、塗布状況や気温・湿度などにより変化します。

※現場養生・梱包等を行なう場合、完全乾燥後でも被塗面に養生物が付着しないようにして下さい。

### 施工上の注意

- ・使用前に目立たない場所で試し、素地に定着するか、リフティング等の不具合がないかを確認して下さい。
- ・主剤が均一になるよう十分に攪拌した後、硬化剤と混合攪拌して下さい。攪拌が不十分ですと仕上がりが不良、乾燥ムラ等の原因となります。また、塗装に使用するハケ・ローラーではなく、攪拌棒等で攪拌して下さい。
- ・1度目のコーティングは薄く塗して下さい。1度目に厚く塗りすぎるとコーティング表面が先に乾いて中うみ状態となり、残留溶剤が多いとフクレの原因となります。
- ・塗装後に降雨・降雪、又は結露が生じる恐れのある場合は施工を行わないで下さい。塗膜が垂れたり白濁化して性能不良の原因となります。
- ・外気温5℃以下、湿度85%以上のときは使用しないで下さい。
- ・PioミラクリンZは、ハケ塗り・ローラー塗りが可能です。

記載内容は、性能向上のため予告なく変更する場合がございます。ご了承下さい。

詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(SDS)並びに取扱説明書をご参照下さい。

### 注意事項

- ・人体に害がある為、吸引したり飲んだりしないで下さい。
- ・換気の良い所で使用して下さい。
- ・引火性がある為、火気に近づけないで下さい。
- ・使用した器具は直ちに洗浄して下さい。
- ・発生する蒸気は引火性がある為、火気のある所では使用しないで下さい。
- ・火災時には、粉末消火剤・泡消火剤・炭酸ガス消火剤を用いて下さい。
- ・本来の用途以外に使用しないで下さい。
- ・シミになる恐れがありますので、衣服に付着しないようにして下さい。
- ・子供の手が届く場所には保管しないで下さい。
- ・直射日光の当たる場所や温度40℃以上になる所、特に暖房器具の近くに放置又は保管しないで下さい。
- ・取り扱い中は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて手袋・マスク・保護眼鏡等を使用して下さい。

### 応急措置

- ・目に入った場合は直ちに大量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、無理に吐かせず、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・蒸気・ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

## ◆ 性能評価試験 ◆

試 験 項 目	試 験 方 法	試 験 結 果
膜 厚 試 験	JIS K5600-1-7	※ 27 μm
粘 度	JIS K7117-1	※ 64mPa・s
蒸 発 速 度	試料重量の経時変化を記録し、試料重量が80%に減少した時の時間	※ 980秒
硬 化 乾 燥 性	JIS K5600-1-1	※ 20分
接 触 角	JIS K2396	※ 100°
粘 着 力	JIS Z0237	※ 0.0N/10mm
付 着 性	JIS K5600-5-6(基盤:モルタル板、シリコン樹脂塗装)	※ 100/100
浸 透 性		※ 1mm以下
耐 水 試 験	50℃温水浸漬、240h、JIS K5600-5-6	100/100
耐アルカリ性	20℃飽和水酸化カルシウム水溶液 72h浸漬の外観	外観変化なし
耐中性塩水噴霧試験	JIS Z2371 促進試験1000h	※ サビを認めない
促進耐候性試験	JIS K5600-7-7 促進試験3000h	※ 膨れ・剥がれを認めない

※(財)日本塗料検査協会委託試験結果

## ◆ 各種承認等 ◆

製 品 名	内 容
国 土 交 通 省	IBNETIS登録 QS-070019-VE

## ◆ 製品案内 ◆

製 品 名	内 容 量	適 用 素 地
PioミラクリンZ	0.8Lセット	コンクリート面、亜鉛メッキ面、塗装(ローバルなど)面、鋼板面
	4Lセット	
	16Lセット	

製造元



〒815-0033 福岡県福岡市南区大橋1丁目3番5号  
TEL:092-554-2656 FAX:092-554-2657 E-mail:center@pio-ltd.jp

販売元



〒813-0004 福岡県福岡市東区多の津1丁目17番6号  
TEL:092-622-3008 FAX:092-622-3009 E-mail:Develop@ko-shin.jp